

設置工事説明書

National

ビルトイン ガスコンロ

品 番

GE-JG601S

※この器具の設置には専用のキャビネットが必要です。

※この器具は、オープンとの接続はできません。(単独設置専用)

工事される方へのお願い

- 器具を正しく安全にご使用いただくために説明書をよくお読みになって指定された工事を行なってください。
- 条件を外れた設置が原因で生じた故障及び損傷は保証の対象外となります。
- 設置工事が終わったら設置工事後の点検確認のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- この説明書および別添付の取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

お客様へのお願い

- 本製品は一般家庭用の製品です。使用頻度の高い業務用にご使用の場合は安全確保のため必ず定期点検を受けてください。定期点検を受ける先がご不明の場合は、末頁の当社にお問い合わせください。

設置工事後の点検確認

● チェックリスト

点 検 項 目	点 検 内 容	参照項目	チェック
ガ ス 種	銘板の表示は使用するガス種に適合していますか。	2	
同 梱 部 品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	3	
可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	2	
設 置 場 所	水平で安定した場所に設置されていますか。	2	
給 排 気 設 備	十分給排気できる場所に設置されていますか。	2	
ガ ス 接 続 工 事	接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	4	

試運転

1. 取扱説明書の「使いかた」に従って試運転を行なってください。
2. 試運転が終了した後、長期間使用しない場合などは、ガス栓を閉じておいてください。

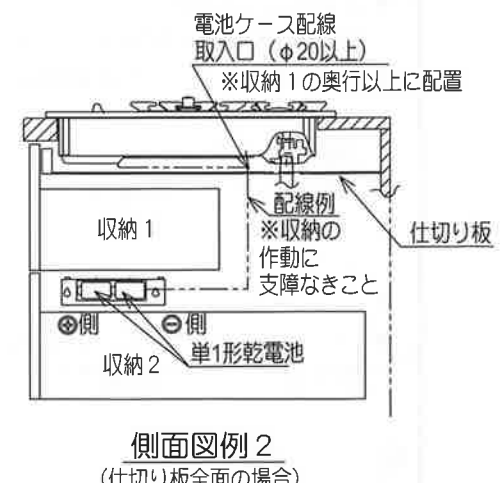
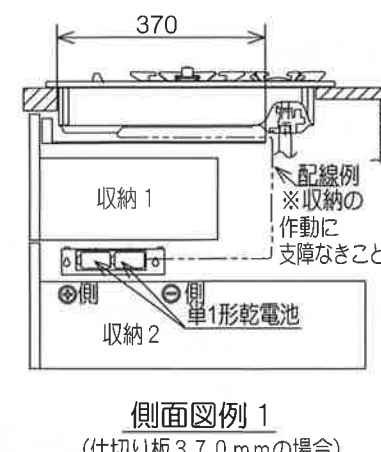
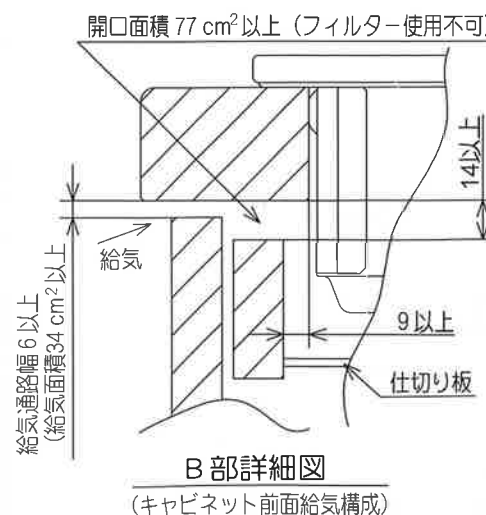
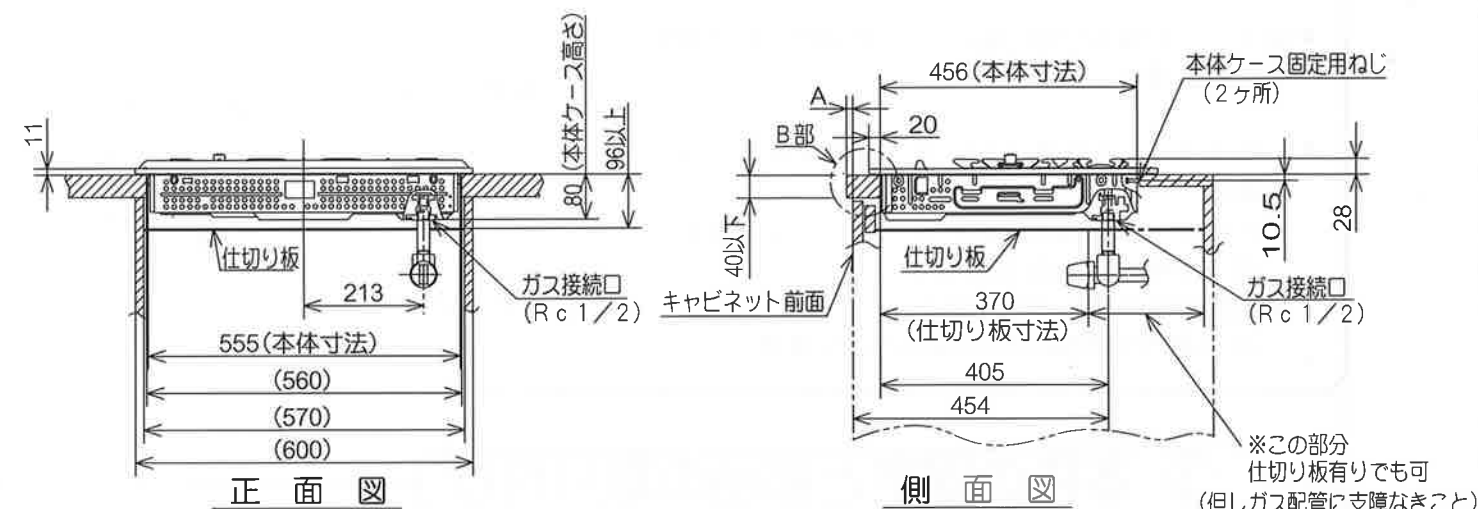
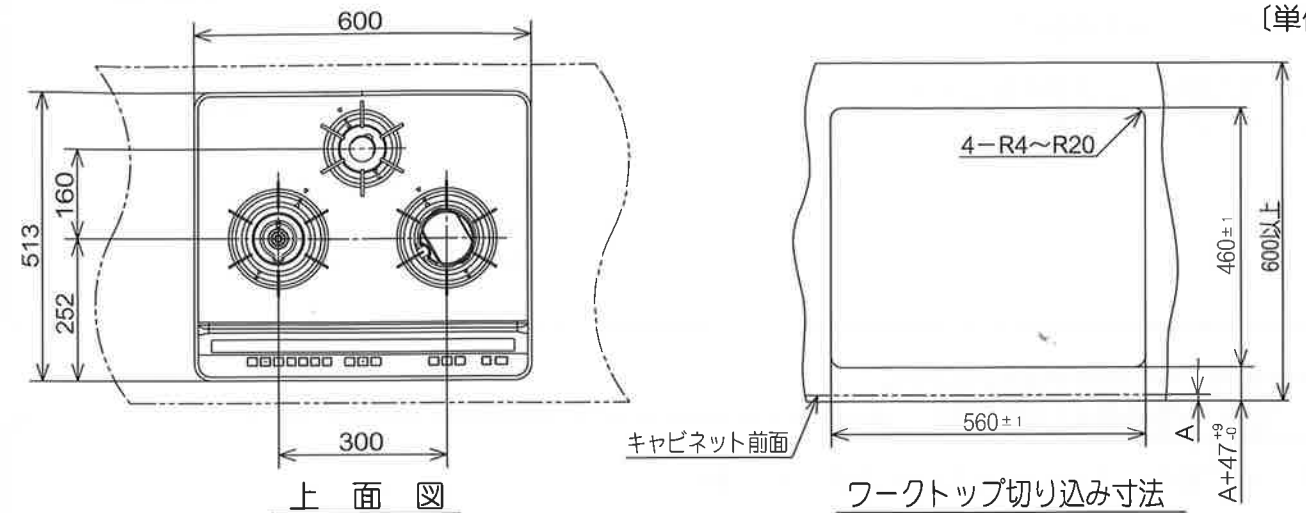
お客様への取扱い説明

1. 取扱説明書により器具の取扱いを説明してください。
2. 保証書に必要事項を記入のうえ、お客様に取扱説明書とともに、設置工事説明書も併わせて保管していただくようお願いをしてください。

1. 寸 法 図 (キッチン組込み寸法図)

〈設置例 1〉 ※代表例です。各社キッチンメーカーにより異なる場合があります。

〔単位：mm〕



※キャビネットに付属の仕切り板を必ず取り付けてください。
 ※背板がない場合、器具に異常を及ぼすおそれがありますのでベニヤ板などで器具の後方をふさいでください。
 (段ボールなど燃えやすいものは使用しないでください。)

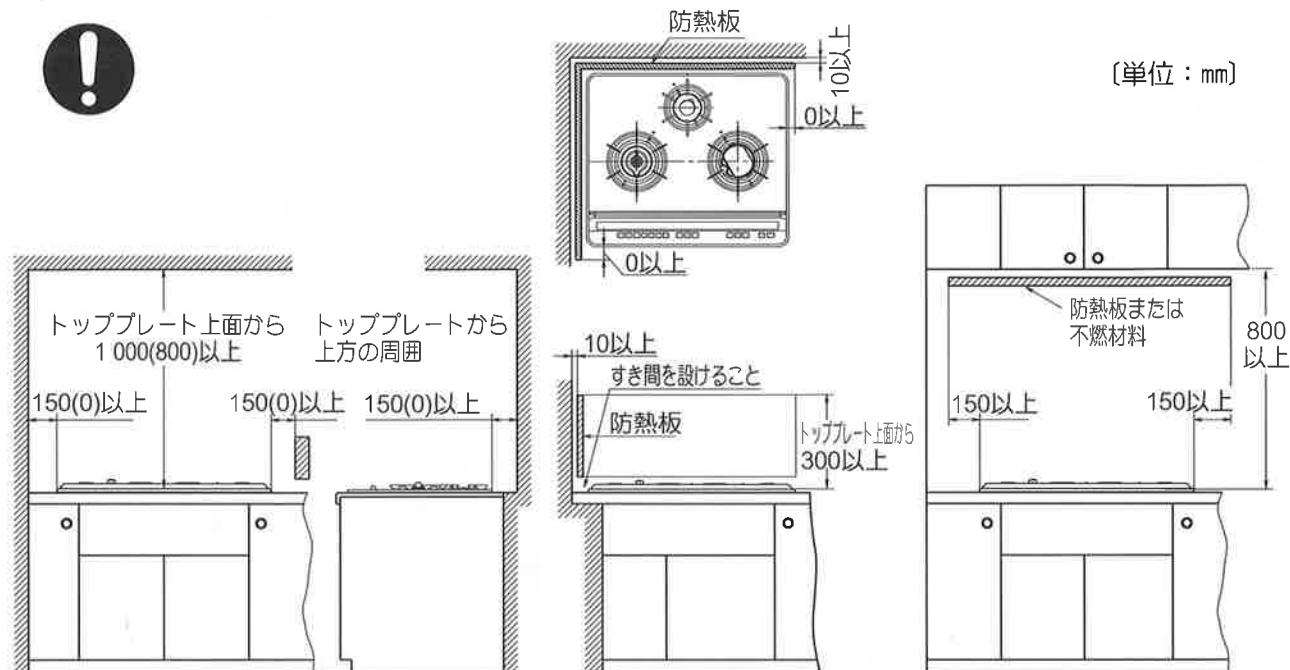
A: ワークトップとキャビネット 前面の寸法

2.

安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠ 注意

- 周囲の壁・天井などが防火上安全なものであるか、または防火上有効な間隔をとることができる場所に設置する



(器具と壁面との間隔を150 mm以上離せない場合、または吊り戸棚などの下面との間隔を1000 mm以上離せない場合には、壁面および器具上部へ図のように防熱板または防熱板相当の不燃材料を取り付ける。)

上図は器具と「不燃材料以外の材料による仕上げをした建築物等の部分」との離隔距離を示す。可燃性の壁に、ステンレス板などを貼り付けてご使用の場合も上記内容に従ってください。

※() 内は上記に防熱板を取り付けた場合の寸法を示します。

上図の離隔距離を確保できないと器具または建築物の部分などが過熱し、火災の原因となります。

- ガソリン、ベンジン、接着剤などの引火性の危険物を扱う場所には設置しない



火災の原因となります。

- 車両・船舶への設置はしない



振動により器具が転倒し、火災や器具故障の原因となります。

- 設置する部屋には必ず排気口を設ける



- ガス消費量が11.6 kW {10 000 kcal/h} を超える場合は器具の真上に排気フード付排気筒 (レンジフード) を設ける

十分な排気ができないと室内に排気がこもり、不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

- この器具を設置する台所が、建築基準法に定める「内装制限を受ける調理室」に該当する場合は、台所全体についても指定の内装材を使用する



建築物の部分などが過熱し、火災の原因となります。

⚠ 注意

- できるだけ湿気の少ない場所に設置する



水のかかる場所は部品の故障やガラスの破損の原因となります。また、器具の寿命が短くなります。

- 器具の回りや上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類などの燃えやすいものを置かない



火災の原因となります。

- ガス接続工事は必ず有資格者が行なう



有資格者以外の工事は、不備によりガス漏れなどの原因となります。

- 棚の下など、落下物の危険のある所、および樹脂製の照明器具の下には設置しない



落下物による火災や、熱による照明器具の変色の原因となります。

- 丈夫で水平な場所に設置する



水平になっていないと、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災の原因となります。

- フークトップの表面がニス引きのものは使用しない



熱による変色の原因となります。

- フークトップの材質は、熱硬化性樹脂化粧板 (JIS K 6903) またはこれと同等以上の材料を使用する



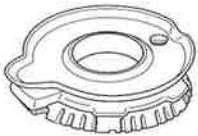
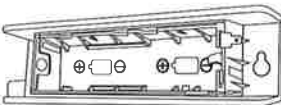
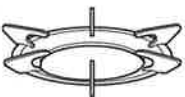
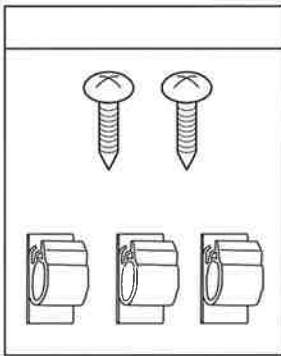
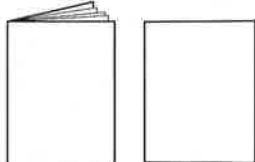
他の材質のものを使用すると過熱し、火災の原因となります。

お願い

- 本体をタイルやモルタルなどで塗り込まない

メンテナンス時に修理ができないことがあります。

3. 同梱部品の確認

部 品 名	形 状	個 数	部 品 名	形 状	個 数
バーナーキャップ (左コンロ用)		1	ごとくリング・奥		1
バーナーキャップ (奥コンロ用)		1	電池ケース		1
ごとく・前 (左、右)		2	電池リード線		1
ごとく・奥		1	ねじセット ねじ (電池ケース 固定用) クリップ (電池リード線 固定用)		2
しる受け皿・前 (左)		1			3
しる受け皿・前 (右)		1	アルカリ乾電池 (単 1 形)		2
しる受け皿・奥		1	電池注意ラベル		1
ごとくリング・前 (左、右)		2	取扱説明書 設置工事説明書		各 1

4. ガス配管・接続工事

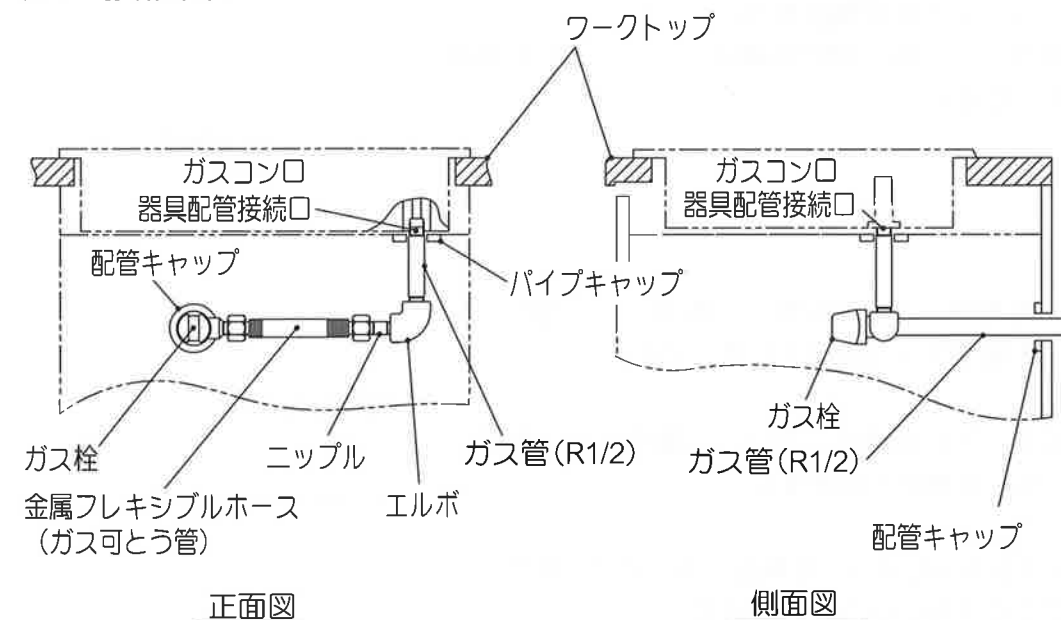
(ビルトインコンロ本体を設置、固定した後、このガス配管・接続工事を行ってください。)

器具を設置する場所にガス栓がない場合、あるいはあっても適切でない(位置・口径)場合は、新設または交換する必要があります。なおガス栓の新設・交換はガス事業者にご相談ください。

ガス接続方法

- ガス接続はRc1/2メネジです。必ず金属管または金属可とう管でガス接続する。
- ガス栓は、キッチンメーカーの指定する位置に取り付ける。

〈ガス接続例〉



※パイプキャップや配管キャップを取付け、配管周囲の隙間はなくすようにしてください。
隙間が大きいとバーナーの吹き消えや炎の吸引による異常過熱の原因となります。
※この器具はビルトインガスオープンとの接続はできません。

工事後のガス漏れの確認

- ガス配管およびガス接続部に漏れがないか必ず確認する。

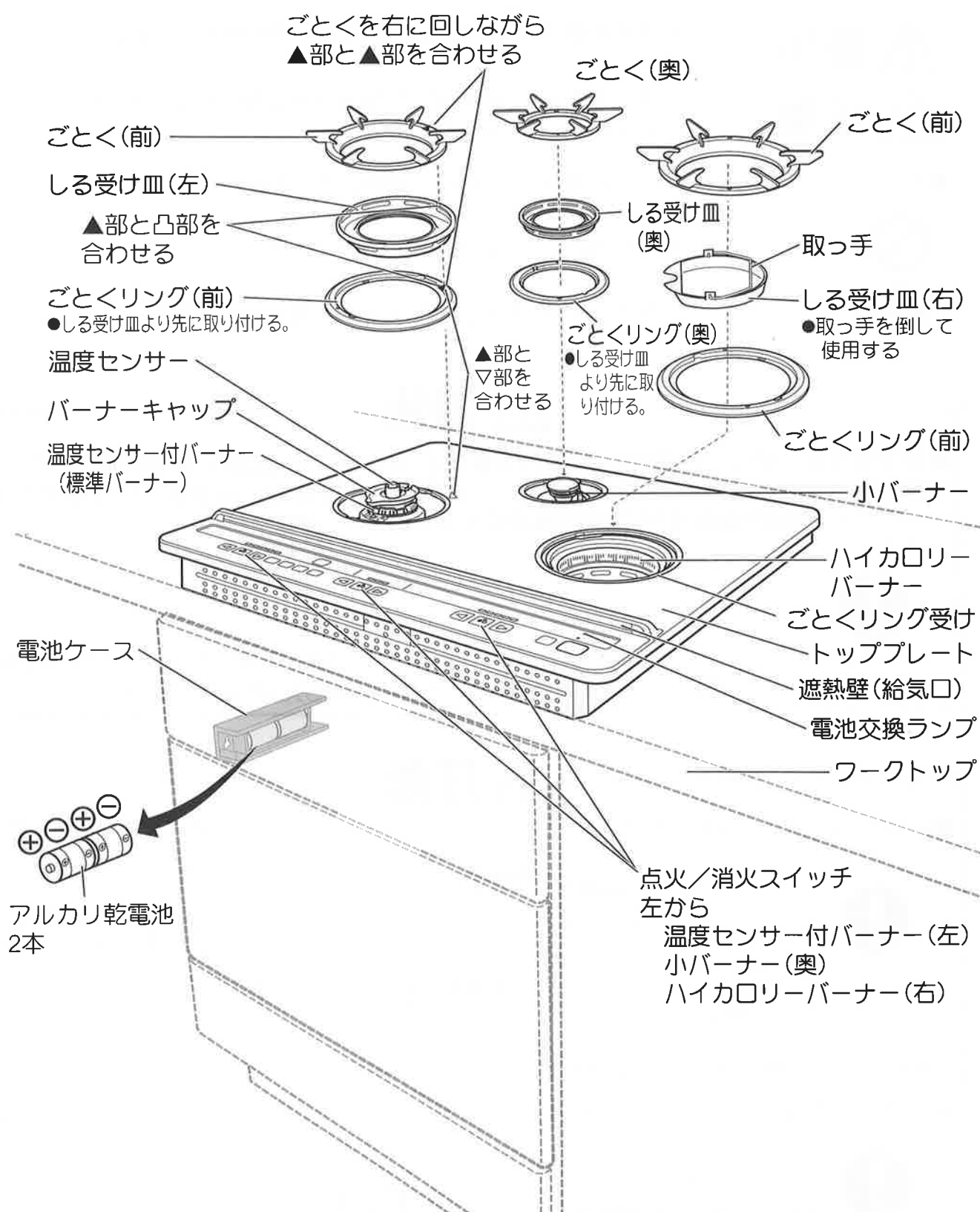
■ 別売品 (防熱板)

GT-P40 幅 600 × 高さ 350 × 厚み 16 mm

KBN-2A 幅 610 × 高さ 350 × 厚み 16 mm (松下設備システム扱い)

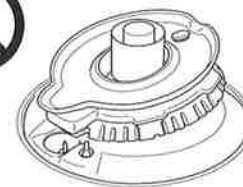
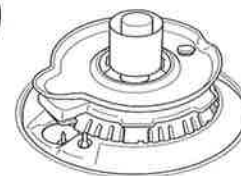
5. 器具の設置

設置部品の概要



⚠ 注意

■バーナーキャップは正しくセットする

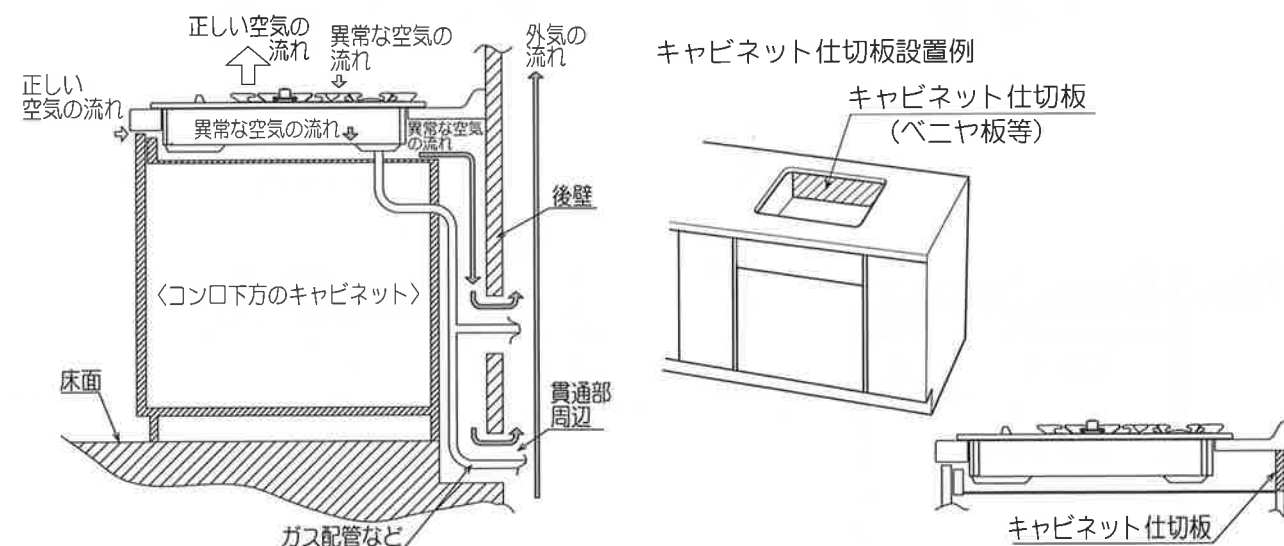


浮いた状態で使用すると、点火しなかつたり異常燃焼や変形の原因となります。

■キャビネットに背板があるか確認する

ベニヤ板などにより器具の後方をふさいでください。

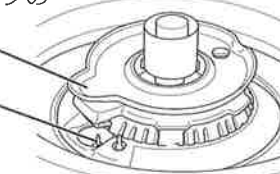
キャビネットに背板が無い場合、後壁の配管貫通部で内気と外気がつながり、異常な空気の流れが起こるため、炎がゆらいだり、火が消えたり、温度センサーが正しく働かないことがあります。



器具設置時のお願い

- バーナーキャップが浮いたり、傾いたりしていないか確認する。

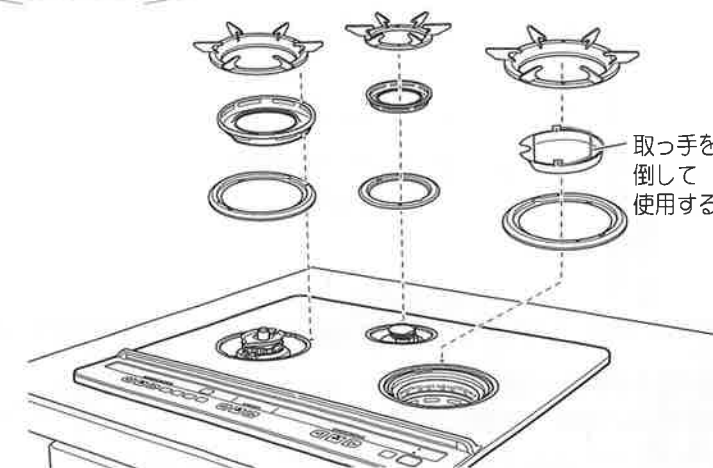
バーナーキャップの突起部を
点火プラグの位置に
合わせる。



- ごとくリング、しる受け皿は、トッププレートに正しくセットする。
※ごとくリングは、しる受け皿より先に
取り付ける。

お願い

- ごとく・ごとくリング・しる受け皿は、
トッププレートへ衝撃を与えないように
取り付ける。
(トップガラス割れの原因)



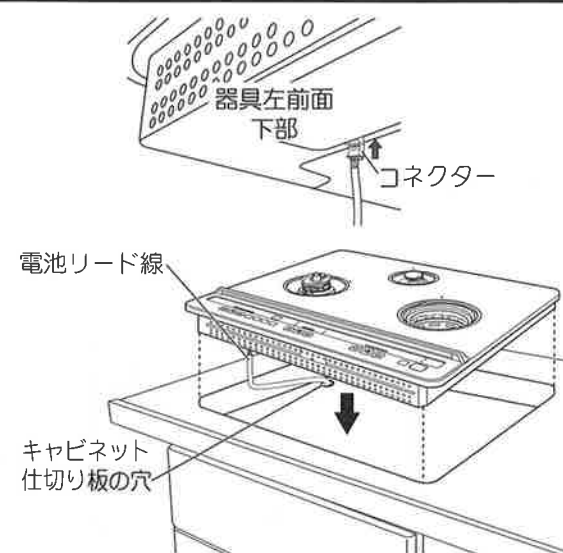
① 部品の取り外し

- トッププレートは外さない。
- 器具側ガス接続口のフタを取り外す。
・取り外したフタは不要。



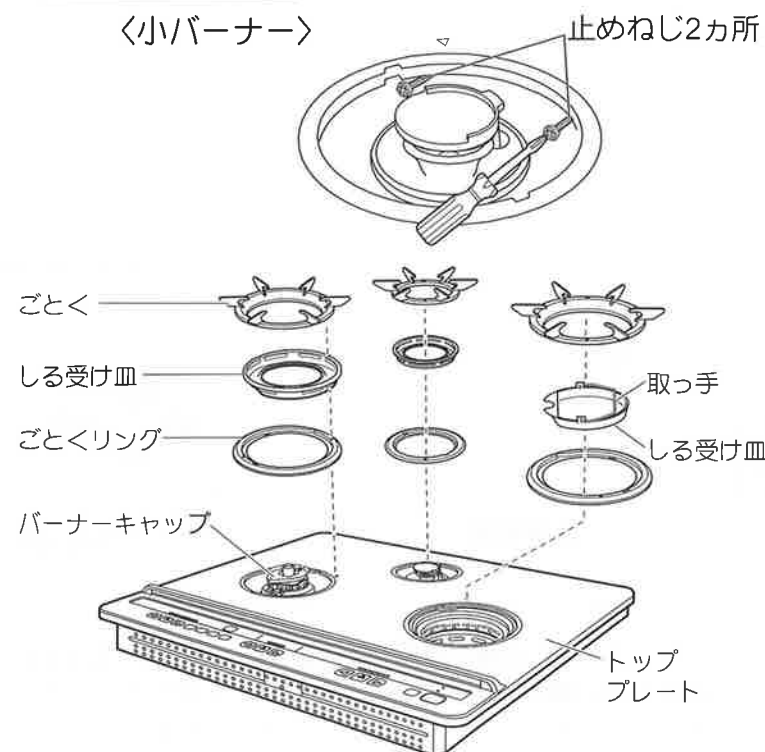
② 本体の設置

- 電池リード線のコネクターを器具左前面下部に差し込む。
- 電池リード線を仕切り板の穴、または仕切り板後方のすき間に通す。
- トッププレートを外さないで、そのままワークトップに挿入し、はめ込む。
※センサーや器具の前面をワークトップに当てない。
(破損や傷の原因となります。)
※器具内部のパイプを持たない。
(ガス漏れや燃焼不良の原因となります。)



③ 本体の固定と部品の取り付け

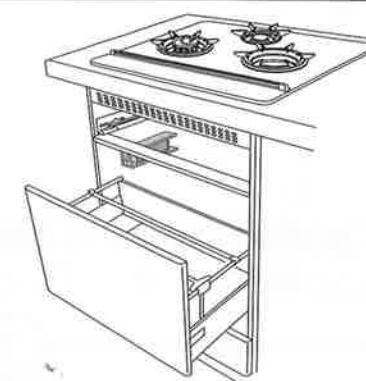
- 本体の位置決め後、小バーナーの後側の止めねじ2本で固定する。
- 止めねじ先端がワークトップに触れてから約1.5回転程度締め付ける
※必ずドライバーで手締めし、締め付け過ぎない。
(締め付けすぎるとトッププレートの後側が浮いたり、器具やワークトップの損傷の原因となります。)
- バーナーキャップ、ごとくリング、しる受け皿、ごとくの順でセットする。



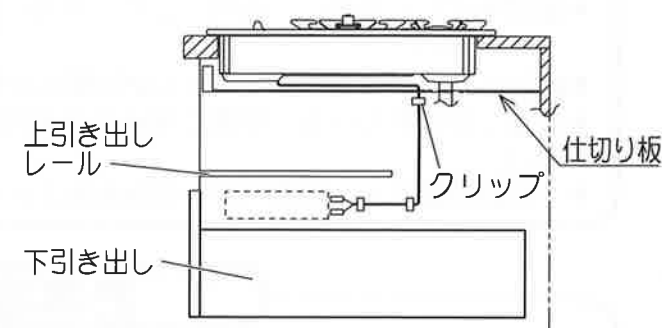
④ 電池ケースの取り付け

〈器具の下部に上引き出しがある場合〉

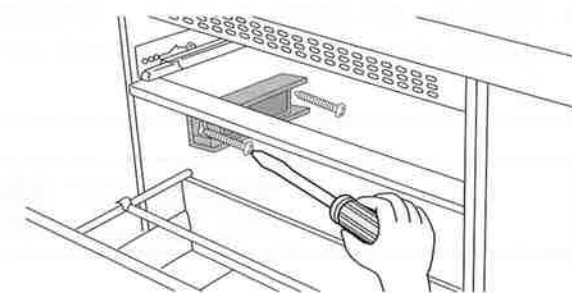
- 上引き出しをあけ、手前に引き抜く。



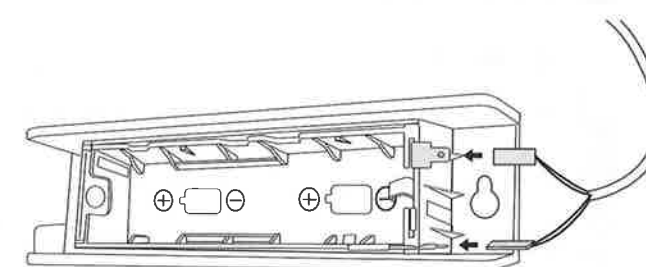
- 電池ケースが上引き出しレールと、下引き出しの間に取り付けられるように電池リード線を上引き出しレールの後方を通し、クリップでキャビネット左側板に取り付ける。
※クリップを取り付ける前に、キャビネットの油分や汚れを十分にふき取ってください。
※電池リード線が引き出しやレールに接触しないように取り付けてください。接触した場合、電池リード線の断線や器具故障の原因になります。



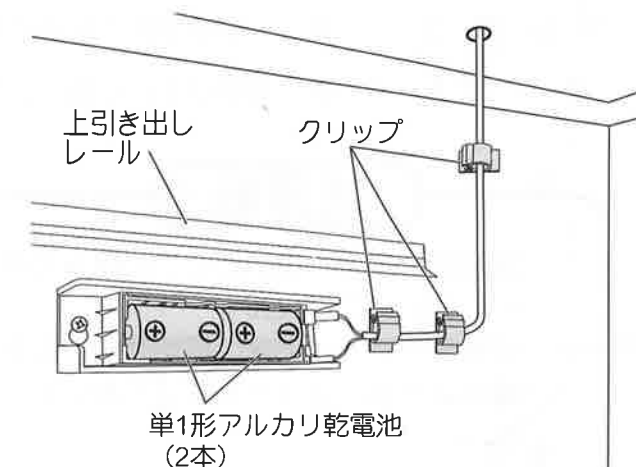
- 電池ケースで位置決めしながら、キャビネットの左側板にねじ2本を仮締めする。
※電池ケースの取り付け位置は、上図を参照してください。



- 一旦、電池ケースを取り外し、電池リード線のコネクターを電池ケースの端子に差し込む。
- キャビネット左側板に仮締めしたねじに電池ケースを取り付け、ねじを締めて固定する。
- 電池ケースに単1形アルカリ乾電池(2本)をセットする。
- 上引き出しをキャビネットに取り付け、上下の引き出しが電池リード線に引っかからず、スムーズに動くかを確認する。



- ※キャビネットの左側板に電池ケースが取り付けられない場合(左側板がない、あるいはSUS製など)あるいはクリップを取り付けられない場合は、該当のキッチンメーカーにお問い合わせください。

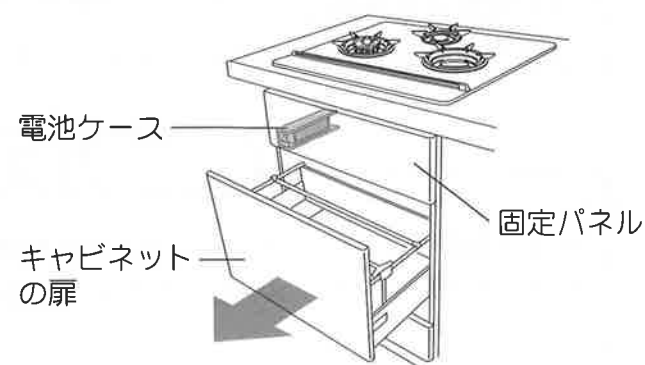


5. 器具の設置

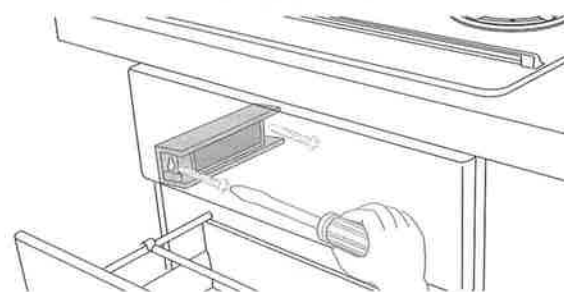
④ 電池ケースの取り付け

〈器具の下部が固定パネルの場合〉

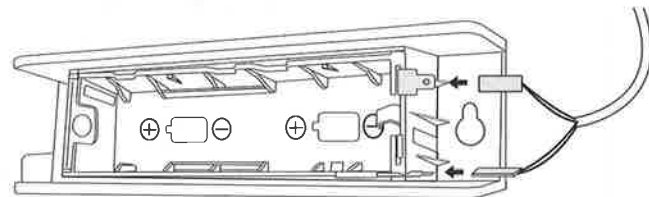
- キャビネットの扉を手前にあける。



- 電池ケースで位置決めしながら、キャビネットの左側板にねじ 2 本を仮締めする。
※電池ケースの取り付け位置は、1. 寸法図 を参照してください。



- 一旦、電池ケースを取り外し、電池リード線のコネクターを電池ケースの端子に差し込む。
- キャビネットに仮締めしたねじに電池ケースを取り付け、ねじを締めて固定する。

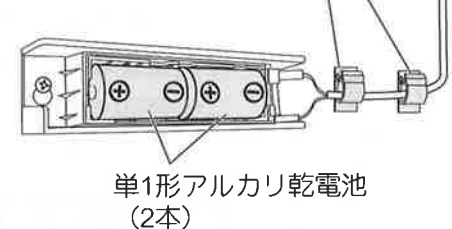


- クリップをキャビネット左側板に取り付け、電池リード線がたるまないように調節する。
※クリップを取り付ける前に、キャビネットの油分や汚れを十分にふき取ってください。



- 電池ケースに単 1 形アルカリ乾電池 (2 本) をセットする。

※キャビネットの左側板に電池ケースが取り付けられない場合 (左側板がない、あるいは SUS 製など) あるいはクリップを取り付けられない場合は、該当のキッチンメーカーにお問い合わせください。



⑤ ガス接続

- 必ずガス漏れ検査を行なう。
(4. ガス配管・接続工事 参照)

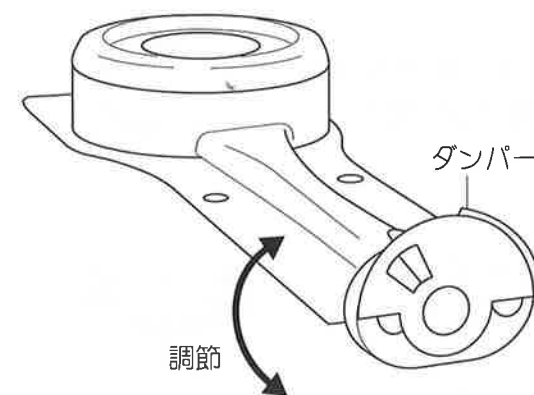


6. 試運転

試運転を行なう

- 表面の 設置工事後の点検確認 の「●チェックリスト」によりチェックする。
- 取扱説明書に従って、コンロの点火確認および試運転を行なう。
- コンロバーナーの燃焼に異常がないことを確認する。

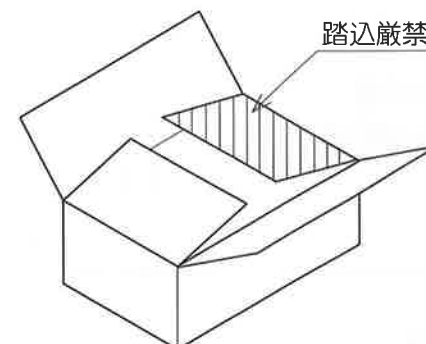
都市ガス用 (13A, 12A 以外) で万ーリフティング (飛火) や逆火などが発生した場合、ダンパーを矢印 (← →) の方向に動かして調節する。



7. 踏込厳禁シートの取り付け

踏込厳禁シートを取り付ける

- 踏込厳禁シート (梱包箱の右フラップ) を切り取り、器具上面に置いてください。

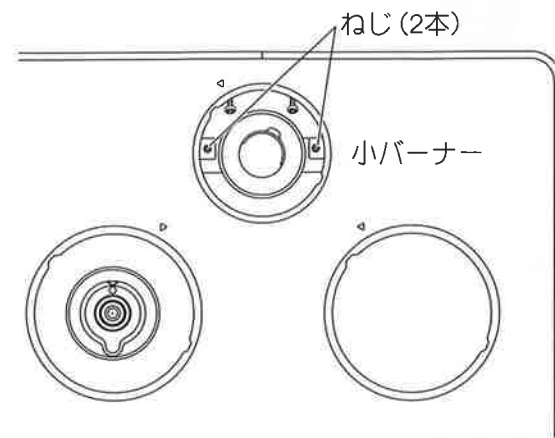


〈参考〉トップレートの取り外し方・取り付け方

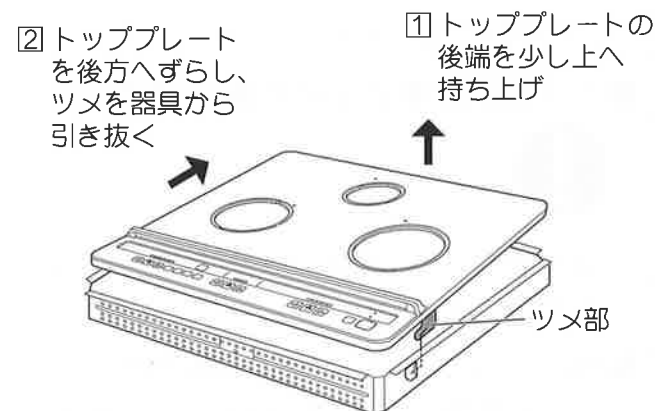
通常の設置工事において、トップレートを取り外す必要はありません。

取り外し方

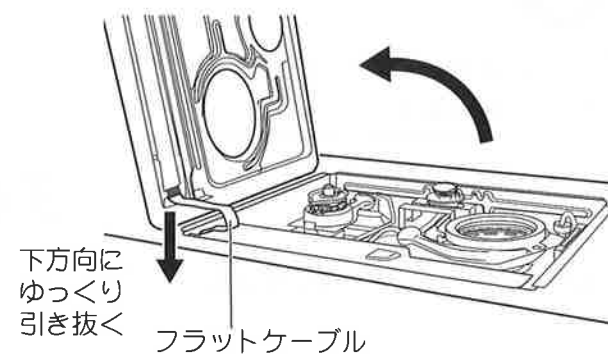
- ガス栓を閉じ、電池ケースから乾電池を取り外す。
- ごとく、しる受け皿、ごとくリングを取り外す。
- 小バーナーのトップレートねじ2本を外す。



- トップレート後端を上へ持ち上げながら、器具後方へトップレートをずらし、手前側のツメを器具から引き抜く。
※トップレートにはフラットケーブルが接続されています。フラットケーブルを傷付けないように注意してください。



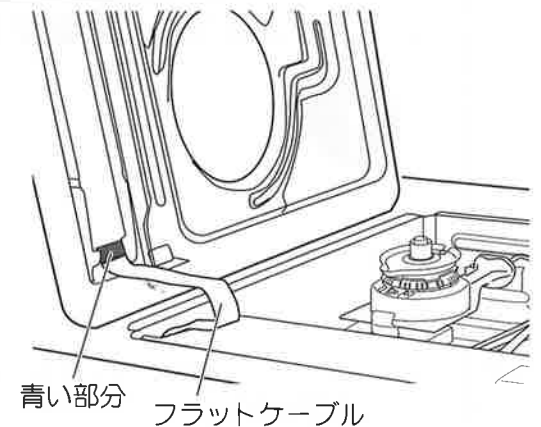
- トップレートの左側端面を下にして、トップレートを持ち上げ、フラットケーブルを下方向にゆっくり引き抜く。
※フラットケーブルを引き抜いた後は、トップレートが倒れないよう、安全な位置へ移動させてください。



取り付け方

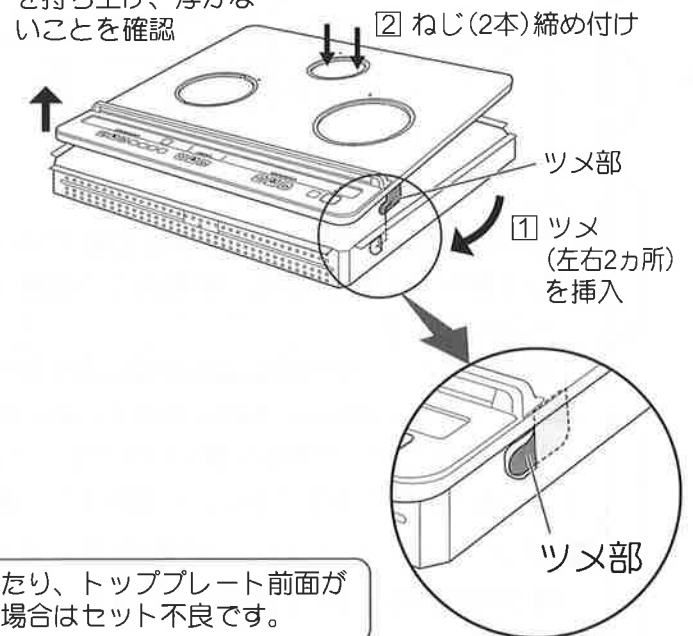
- 上記「取り外し方」と逆の手順でトップレートを取り付け、ねじ2本で締め付ける。

※フラットケーブルは「青い部分」が手前側になるように奥まで確実に挿入してください。



- ③ トップレート前面を持ち上げ、浮かないことを確認
- ② ねじ(2本)締め付け

※トップレートのツメが確実に挿入されているかトップレート前面を持ち上げ、浮かないことを確認してください。



- ごとくリング、しる受け皿、ごとくの順で外した部品を全て取り付ける。
※確実に取り付けてください。
(5. 器具の設置 設置部品の概要 参照)

- 電池ケースに乾電池をセットし、試運転を行なう。(6. 試運転 参照)

製造者

松下電器産業株式会社 リビングサポートシステム事業部
〒639-1188 奈良県大和郡山市筒井町800
TEL (0743) 56-1121